

～ 第1種踏切道において発生した、列車と自動車との衝突に伴う列車脱線事故 ～

鉄道事業者名：東海旅客鉄道株式会社

事故種類：列車脱線事故（踏切障害に伴うもの）

発生日時：令和6年2月13日 19時31分ごろ

発生場所：愛知県豊川市

飯田線 豊川駅構内

鈴与踏切道（第1種踏切道：踏切遮断機及び踏切警報機あり）

豊橋駅起点9k003m付近

<概要>

東海旅客鉄道株式会社の飯田線新城駅発豊橋駅行き上り第560G列車の運転士は、令和6年2月13日（火）、三河一宮駅～豊川駅間を速度約76km/hで走行中、鈴与踏切道（第1種踏切道）内にとどまっていた自動車を認め、直ちに非常停止手配を執ったが、同列車は同自動車と衝突し、その後約136m走行して停止した。停止後に同運転士が同列車を確認したところ、先頭車両前台車の前軸が左側に脱線していた。

この事故により、同自動車の運転者が死亡した。

<本事故発生場所の周辺図>



この図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）を使用して作成

< 鈴与踏切道の状況 >



< 鈴与踏切道内に設置された表示等 >



< 原因 >

本事故は、第1種踏切道である鈴与踏切道に列車が接近し踏切警報機が動作している状況において、自動車が同踏切道内に進入してとどまり、同列車と衝突したことにより同列車が脱線したものと推定される。

同踏切警報機の警報開始後に同自動車が同踏切道内に進入したこと及び同自動車が同踏切道内にとどまったことについては、同自動車の運転者が死亡しているため詳細を明らかにすることはできなかった。

< 必要と考えられる再発防止策 >

本事故は、鈴与踏切道の踏切警報機の警報開始後に自動車が同踏切道内に進入してとどまったことにより発生している。したがって、事故の再発防止には、都市計画道路豊川牧野線の整備を進め、立体交差化により鈴与踏切道の廃止を早期に実現することが望まれる。

[詳細は、運輸安全委員会ホームページ \(https://jtsb.mlit.go.jp\) より、
 鉄道事故調査報告書をご覧ください。](https://jtsb.mlit.go.jp)